昭和52年6月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話 4111番㈹・〒754―12
印刷　阿知須砂郷よしの印刷

# 広報あじす

№.307

町の住民登録人口
（52年5月31日現在）　前月比
世帯　2,142世帯　－2
人口　8.262人　－6
（男3.903人　女4.359人）
（国勢調査　昭和50年10月1日
世帯　2.113世帯
人口　8.137人
男3.771人　女4.366人

# 歯は健康のシンボル

## 六月四日から　虫歯予防週間

六月四日を"ムシ"と読むユーモラスな着想から、昭和三年に日本歯科医師会の提唱によって、この日から一週間を「虫歯予防週間」と定められました。

歯は"健康のシンボル"といわれ、この週間では、歯の衛生に関する正しい知識を普及するとともに、歯科疾患の早期発見、早期治療、予防処置の励行を徹底し、歯や口の健康確保をとおして健康の保持増進を図ろうというものです

### 歯をたいせつに

ムシ歯が主として子どもをおかすのに対して、歯槽膿漏（しそうのうろう）は大人をむしばみます

歯を失う原因を調べると、ムシ歯と歯槽膿漏が四十％以上を占める高率で、しかも歯槽膿漏の場合はまったく無キズの歯でも歯茎を失ってしまいます。

歯の予防法としては、定期検診を受けたり、歯石を取ることも必要ですが、口の中をいつも清潔に保つことが第一です。

### 子どものムシ歯

子どもの歯は、心身の正常な発達と健康に深い関係があります。

ムシ歯を予防し、きれいな歯を保つよう、日常生活のなかで習慣づけましょう。

①おやつを工夫し、糖分をひかえ甘党に育てない。
②食後は口をすすぎ、歯みがきの習慣をつける。
③フッソの塗布をする。

（写真は給食のあと歯みがきを励行している井関小学校児童）

# 所得税が戻ります

## 特別減税で昨年の所得対象

今回、昭和五十一年分所得税の特別減税が行われ、つぎの金額が還付されることになりました。

還付される金額は、本人六千円控除対象配偶者や扶養親族は一人につき三千円として計算した金額です。ただし、納めた昭和五十一年分の所得税額の方が少ないときは、その税額までとなります。

還付方法とその手続はつぎのとおりです。

＜サラリーマンの場合＞

本年六月一日現在において昨年と同じ会社に勤務しているサラリーマンは、およそ六月～七月ごろ賞与や給与を受取るときに、勤務先から還付されます。

＜事業所得者などの場合＞

事業所得者など確定申告をして納税した人は、六月下旬ごろに税務署から還付を受けられる金額をお知らせします。その際、同封された還付請求書に、所要の事項を記入して税務署に返送してください。そうすると、税務署から還付金の支払通知書が送られてきますから、この支払通知書によって郵便局で還付金を受取ることになります。

＜その他＞

給与の税金を源泉徴収で納め、年末調整を受けているが、今年になって五月末までに退職した人や昨年中途で退職したなどのため、給与の税金を源泉徴収されたままで年末調整を受けていない人などは、税務署へ還付請求をしてください。この場合、昭和五十一年分の確定申告書を提出していない人は、期限後の確定申告をして、特別減税を受けることになっています。

詳しいことは山口税務署（山口二一―一三四〇・所得税担当）か町役場税務課へおたずねください。

# お疲れでした河川清掃

きれいな町づくり、災害のない町をめざして、ことしも町内総ぐるみの河川、海岸清掃が五月二十九日行われました。

全世帯を対象としたこうした奉仕作業はすでに五年目、県下でも類がなく愛郷精神のあらわれだと高く評価されています。

お疲れでした。

# 雨季に備えよう

## 家の周囲・側溝の清掃

暦では、六月十一日が入梅になっています。

梅雨期になると大雨、集中豪雨が心配されますが「備えあれば憂いなし」、やってくる雨季に備えて、家のまわりや溝などの水ハケはよいか確めておきましょう。

### 大雨前の心得

大雨前には家の点検、屋根の補強、雨戸の修理、排水溝の掃除をし、懐中電池などの準備をしましょう。

また、がけ下を切ったり、がけの上に土を盛るなどがけに手を加えたり、水のたれ流しなど不安定にするようなことはやめましょう

### 気象条件に留意

降り始めてから八〇ミリ、また一時間の降雨量が二〇ミリを越えると災害発生率が高いといわれています。

### あなたもできる防災措置

がけの周囲、家の周囲を日ごろから見回わり、つぎのようなことを早目に行いましょう。

○がけの上や下にあって、風で地盤をゆさぶるような大木は切るか移植しましょう。
○地盤の弱いがけはビニール等でがけを覆い雨水の浸透を防ぐ。
○家の雨漏り、木ぐさり、側溝の異物は、日ごろから補強、修理清掃をしましょう。

### 避難の用意は日ごろから

長雨による増水、がけ崩れの恐れのある場合には、テレビ、ラジオなどの気象情報に注意するとともに、まず、安全な場所に早目に避難することが、災害から身を守る一番大切なことです。

そのためには、日ごろから、どこへ、どんな方法で避難するかをあらかじめ検討しておきましょう

### 福祉年金

### 老人医療費の受給者

## 定時届を忘れずに

### 27・28の2日間役場で

国民年金の老齢、障害、母子、準母子福祉年金、老齢特別給付金の定時届けを今月二十七日、阿小校区（岩倉を除く）、二十八日井小校区（岩倉を含む）の両日受付けます。

福祉年金を受けるための大切な届出です。当日は印鑑と年金証書をもって町役場住民課国保年金係へ。

また、老人医療費受給者証の更新も、二十七日・二十八日に行いますので受給者証と健康保険証を町役場厚生課へ持参ください。

# 児童手当等は六月末日まで

現在、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の受給者は、六月末日までに印鑑と証書を持って厚生課へ。

福祉医療費受給者証の更新も同じく六月末日です。該当者は印鑑と受給者証、健康保険証を厚生課へ持参してください。

# カワラ、石類は火葬場の東へ

## 役場で手続きして処理を

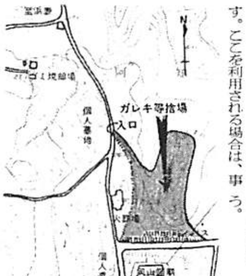
### 沖の原の処理場は閉鎖

町では沖の原（中学校北東）にガレキ等不燃物の処理場を設けておりましたが、ここがいっぱいになったため閉鎖し、新たに岡山の火葬場東側の低地を処理場にしました。（カット参照）

新しい処理場は無断投棄、不法投棄を防ぐため、入口に柵をし錠をかけています。ここに投棄できるのは、レンガ・カワラ・石類です。ここを利用される場合は、事前に町役場厚生課に備えてある受付簿にガレキの種類、数量等をご記入ください。その人に限り処理場入口のカギを貸します。

家屋を解体した古材、家具、産業廃棄物等はここでは処理できません。

ガレキ類を処理されるときは、あとから捨てる人が処理しやすいように秩序ある捨て方をしましょう。



# お知らせ

## 県が上級採用試験

### 受付は六月三十日まで

山口県人事委員会の五十二年度県職員採用上級試験がつぎの要領で行われます。

受付期間　六月三十日まで（郵送の場合は三十日までの消印）
試験職種及び採用予定　行政約十五人、専門職務若干名
受験資格　昭和二十三年四月二日から昭和三十一年四月一日までに生まれた方。
試験日時、方法　一次試験＝七月二十四日、教養、専門試験、二次試験＝八月下旬　口述試験、適性、身体検査
受験申込書　県人事委員会事務局（山口市春日町八－三・電話山口二二－三一一一）へ

中級・初級試験は十月中旬。

# ぼくの学校　わたしの学校

〔阿知須小〕
10日　三、四、五年社会見学
〃　一、二年遠足
11日　集金日
18日　避難訓練
21日　参観日（午後）
26日　PTA、後援会研修視察

〔井関小〕
7日　集金日
9日　体重測定
11日　参観日
27日　プール開き

〔阿知須中〕
7日　一年保護者招待会
14日　集金日
16日　三年統一テスト
20日　参観日
23日　貯金、簡易保険納入日
7月1日　諸会費納入日
4日　男子体重測定
5日　女子体重測定

## 6月のメモ

| | |
|---|---|
| 8日 | 松くい虫空中防除（前5時～9時・ゴルフ場周辺） |
| 〃日 | レタリング講座（後7時半） |
| 9日 | 妊婦学級（後1時半） |
| 10日 | 陶芸教室（後1時半・阿中美術室） |
| 14日 | 育児相談（後1時） |
| 16日 | 栄養教室（前10時） |
| 〃 | 妊婦学級（後1時半） |
| 17日 | 園芸教室（後1時半・町内巡回指導） |
| 18日 | 少年教育講座（後2時半） |
| 21日 | 幼児相談（後1時） |

〔会場の記入のないものは役場〕

### 6月の納税

○　町県民税　○　国民健康保険税

# 野良犬の退治を

## 捕獲器を貸します

野犬や猫を捕獲するため、町では捕獲器を備えています。

野犬・猫の被害でお困りで地区住民の協力が得られる方には捕獲器をお貸しします。

ねずみとりを大型化したような金属製のものです。

希望者は厚生課へご連絡ください。

# 防火用水池に柵を

## 有刺鉄線を差上げます

家の近所にある防火用水池に幼児、児童があやまって入らないよう周囲に柵があるでしょうか。

もし、近所の防火用水池の柵が破れていたら、町が有刺鉄線を無料でさしあげます。

区長を通じて町へ（交通防災対策室）申し出てください。

# 干拓は諸車進入禁止

昨年二人、今年も一人の交通事故死者を出した干拓は六月から自動車の乗り入れを禁止することになりました。

これ以上の犠牲者を出さないための処置です。干拓入口に石を置き、螢光塗料が塗ってあります。

ご注意いただくとともにご協力をお願いします。

# スポーツ教室の受講者募集

町教育委員会はつぎの教室の学級生を募集しています。

### 初心者バレーボール教室

バレーボールを通じて体力つくりをめざす人。毎週火曜日、夜七時三十分から九時三十分まで阿中体育館に直接お出かけください。

### 体力つくり教室

主にインディアカの実技指導、秋の町内球技大会の種目に取り入れる予定。毎週土曜日、夜七時三十分から九時三十分まで。阿小講堂。

# 善意はここに

〔社会福祉協議会〕

◇香典返し▽二万円＝村田敏明さん（飛石）は父喜代松さんの。徳永勝三さん（岩辻）は父房夫さん。宮重正治さん（北）は母スミさんの。▽三万円＝布引平八郎さん（新田）は父好人さんの。

〔町へ〕

◇広報送料▽三千円＝長尾俱邦さん（埼玉県川越市上戸三一八の六・岩西前出身）、飯田英雄さん（宇部市藤山一一四・小東出身）、生田誠治さん（宇部市東区琴芝・中村出身）▽千円＝河合ヨネさん（宇部市岐波花園・中村出身）

◇公民館へ▽子ども相撲大会（四日開催）に役立ててほしいと大賞トロフィー（二万円相当）＝植杉佳郎瑞さん（つるや経営・砂郷二区）

## 土地利用は届出・許可を
# 建築は確認の手続きを

家を建てたり、土地の取引きをする場合、あるいは広い土地の造成、土砂採取などは、それぞれ法によって届出たり、許可を受けたりしなければなりません。

つぎのような場合に届出や許可がいります。

▽開発行為（住宅、その他建物を建てるための土地造成）＝三千平方メートル以上は県知事許可

▽土地の形質変更（山林の土石や樹根の採掘、開墾）＝一ヘクタール（約一万平方メートル）以上は県知事許可

▽土石の採取（石や真砂土の採取）＝事業として行う場合は登録認可を受けたあと、採石法による許可が必要。面積の多少に関係ない。

▽建築物の新・改・増築＝建築確認の申請・県知事の確認。

▽公共用地に接する個所の施工＝管理者（国・県・町など）と協議が必要。まずは町施設課に連絡を

▽土地売買＝五千平方メートル以上は県知事許可

具体的にはつぎのような場合。

### 家の改築・増築・新築

町内はどの地域も県の建築主事の確認がいります。建築確認申請書に設計・計画図などを添え、役場を通して県土木事務所に提出します。道路、防災、地域計画、建築基準法などの関連を審査し、支障がなければ許可されます。

対象は十平方メートル以上の建物の改築・増築・新築です。しかし面積は変らなくても大規模の改造も対象となることもありますし納屋、倉庫等も対象になります。

### 公共用地との境界

公共の道路や水路などに隣接した土地を埋立てたり、加工するときは必ず事前に町施設課にご連絡ください。塀や石垣等を築くとき、木を植えるときも同様です。

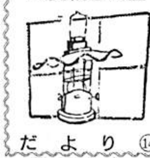
道路の法（のり）を使うときは占用、あるいは使用の許可手続きさらには加工承諾も必要です。

事前の協議をしなかったり、認・許可を受けないで施工すると、あとから工事をやり直さなければならないことにもなりかねないのでご留意ください。

特に建設・建築関係の業者は施工主への指導をお願いします。

---

町史編さん室



だより⑭

## 近世の開作
### ―鍬下年季のこと―

阿知須における開作を述べるにあたり、鍬下年季についてふれておこう。

開作は地下請をして開立を認可された場合、原野、干潟などを築立することから、一定の免租期間が与えられた。これを鍬下年季といい、慶長十八年には三か年、明和元年には二十か年の記録がある。

阿知須においては、芥川家が佐伯上地開作地（牧ノ江）の古樋取除の跡地を畠新開にすべく文化五年から八か年の鍬下年季を認可され、また阿知須浦百姓惣兵衛は牧ノ江干潟地を開立るにあたり、十か年から三十か年の鍬下延引を願い出て認可されている。

開作地の規模、地理的条件によって鍬下期間がきまるが、基本的には藩府の開作政策による干潟開作を考慮するに至り、次第に鍬下年季も長期化してきた。

一方、開作主にとって、鍬下年季は開作地への投下資本を回収する時期でもあり、利潤の追求を開作地の請負に求めた町人等は、資本投資にあたり鍬下期間を一条件とした。

右田毛利家の勤功開作である牧ノ江開作は、築立にあたり、山口河野七左衛門以下数人による町人請負の形態をとったが、出銀にあたり、鍬下年季が条件として加えられている。

なお、同開作は最終的に萩町人菊屋家のもとで完成したと推測され、菊屋家の小作経営が戦後の農地解放まで続けられた。

牧ノ江開作は家来拝領開作地が町人の請負によって開立された請負町人または、これにかわる豪商の小作経営が行なわれた一例として注目される。

---

## 農協の新役員

任期満了に伴い五月七日に予定されていた阿知須町農業協同組合の役員選挙は、立候補者が理事十二人、監事三人と定員いっぱいであったため無投票当選となりました。任期は三年です。新役員はつぎのとおり

〔理事〕

竹重方一（門松）大下武夫（浜表）西山泰（源河）伊藤敏男（源河）芥川文蔵（引野）山本幸一（仙在）小野勝久（野口）辻下節男（岩辻）益弘吾一（旦北）浜村見一（浜）早瀬定甫（飛石）河村金作（南祝）

〔監事〕

藤重真作（岩上）松本隆夫（南祝）片岡逸雄（河内）

なお、初の役員会で理事長に伊藤敏男（七二）常務理事に河村金作（六二）の両氏の留任、代表監事に藤重真作氏を決めました。任期は三年です。

## 事務所を移転新装
## 農協が都市計画で

阿知須町農業協同組合は都市計画による駅前広場新設のため、昨年から事務所の解体、新築工事を進めていましたが五月から新しい建物で営業しています。新築落成式は六月末か七月上旬の予定とのこと。

事務所の建築面積は約七百六十二平方メートルで鉄筋コンクリート二階建。一階は事務室、二階は五百五十人程度収容できる大会議室のほか料理実習室などあり、四十回線用公社電話自動交換機、冷暖房設備や金融事業を行うための防犯設備など完備した近代的な建物に生まれ変りました。

工事費は建物が一億四千四百四十九万五千円、付帯工事費を含めると一億六千三百二十三万九千三百円でした。

これに伴って、農協ストアも移築され、駅前は広くなりました。駅前広場は来年度から整備できるよう準備を進めています。

（写真は新装なった農協の事務所）

## 新沼謙治ショー
### ―十一月に商工会が―

阿知須商工会は十一月に歌手の新沼謙治を招いてショーを開きます。

このショーはスタンプシール（買物百円ごと一枚進呈、売出期間中は二枚）の台紙十六枚で招待券一枚を進呈することになっています。人数に制限があるので早目の交換を望んでいます。

招待券の現金販売は全くしないとのことです。

ショーの日時は十一月十三日（日）一回目十二時から、二回目十五時からの二回公演。場所は阿知須中学校体育館。

## 雨のあとは根こそぎも
### いまがセイタカアワダチソウ退治の好機

セイタカアワダチソウがだんだん伸びてきました。この時期に薬を撒くか、抜きとるようにすると繁殖を防ぐのに効果が大きいようです。

特に雨降りのあとは引き抜きやすく、根こそぎ抜くこともできます。

町の男子職員は十のグループに分れ五月下旬から六月にかけて町有地や町道などセイタカアワダチソウの多く発生しそうなところに薬剤を散布してまわりました。

## 井関小に松崎教頭

山口県教育委員会は五月二十日付でつぎのとおり人事異動を行いました。（下段は旧）

▽県教育庁保健体育課保健係長
西村哲郎（井関小教頭）

▽井関小教頭　松崎進（恩田小教論）

### 訂正とおわび

先月号の阿知須中学校育友会の役員の項で、副会長木原妙子（旦東）とあったのは「山野伸子（旦北）」さんの誤りでした。木原さんは後援会の副会長でした。

◇　◇　◇

## 〝獣医〟変じて〝バレーの先生〟
ネパールから便り
## 海外協力隊の松田青年

松田芳行さん

昨年の十月に青年海外協力隊の一員（獣医）として、ネパールに赴いた松田芳行さん（二八）＝野口・大成建設顧問松田一人氏四男＝から現地の模様など記した第二便（一便は今年一月号に掲載）が町役場に寄せられました。紙面の都合上、要旨のみ掲載しますご了承ください。

### 週に一度の市が社交場

○―毎日、二～三時間雨が降り、日本の初夏の暑さです。自分の職場はカトマンズよりかなり奥地のジリという標高二千㍍にある村で残念ながらヒマラヤは見えません。

この付近では中心的な村ですが電気、道路、店がなく、週に一度市が開かれるのがネパール人にとっても、私にとっても週に一度の社交場のようなもので、非常に楽しいものです。

### 往診は馬に乗って

○―仕事は、この付近の獣医診療活動ですが、受持ち範囲が広く、歩いて五～六日かかることも珍しくありません。日帰りできる往診は、馬に乗り、助手と馬番をつれていくという診療活動です。

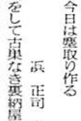
祭日に行われたバレーボール試合に、私の技術が買われて、早朝と夕方はバレーボールのコーチ役を引受け、今では獣医よりバレーボールの先生の名前が離れた部落にも広がっているのは、少々おもしろい話です。（註・松田さんは阿知須バレーボール同好会員でした）

### 紅茶はタバコより安い

○―物価はタバコと卵は日本と同じ位ですが、ネパール人がよく飲む紅茶はタバコ一本よりも安く、市の日に百ルピー（二千五百円）も買物すれば一人では持ちきれず、かつぎ役二人ぐらい連れていかねばならない次第です。

習慣の違いとか、苦労する面もかなり多く、話が好きで、労働をあまり好まないネパール人の人間関係には手を焼く毎日です。時間の約束は特にひどく「ちょっとあとで……」というほど引き当てにならない言葉はありません。しかし、山道を歩くのだけは現地民にはかないません。

五月中旬から四か月近く本格的な雨季、この間、飛行機も飛んできませんが、私にとっては初めての雨季、どんなものか不安でもあります。



## 交通共済の地区加入状況

| | 住民数 | 加入者 | 率% |
|---|---|---|---|
| 小東 | 一一八 | 四〇 | 三四 |
| 小西 | 二六七 | 一二八 | 四八 |
| 小南 | 三〇五 | 一二〇 | 三九 |
| 前山 | 二五〇 | 八〇 | 三二 |
| 北祝 | 二一三 | 一二一 | 五七 |
| 南祝 | 三五六 | 一四六 | 四一 |
| 恵比須 | 二三三 | 一〇六 | 四五 |
| 築地 | 一九七 | 九二 | 四七 |
| 東 | 一九六 | 一二八 | 六五 |
| 縄南 | 三三〇 | 一二四 | 三八 |
| 縄北 | 二四〇 | 一一八 | 四九 |
| 中村 | 一七七 | 七三 | 四一 |
| 西条 | 二三二 | 六八 | 二九 |
| 寺河内 | 一六四 | 八一 | 四九 |
| 浜 | 三六九 | 二二二 | 六〇 |
| 砂一 | 一七九 | 七八 | 四四 |
| 砂二 | 一七五 | 九六 | 五五 |
| 砂三 | 四九六 | 二一二 | 四三 |
| 飛石 | 三六六 | 一八七 | 五一 |
| 沖の原 | 一五七 | 八二 | 五二 |
| 岩西 | 一二八 | 五九 | 四六 |
| 岩前 | 二一三 | 一五一 | 七一 |
| 岩西前 | 一三四 | 七三 | 五四 |
| 岩辻 | 二三七 | 一四九 | 六六 |
| 岩上 | 一五六 | 六九 | 四四 |
| 旦東 | 一二二 | 七一 | 五九 |
| 旦西 | 九六 | 六〇 | 六三 |
| 旦北 | 一九二 | 一一八 | 六一 |
| 円松 | 一五九 | 七五 | 四七 |
| 岡 | 一三二 | 五四 | 四一 |
| 浜表 | 二五四 | 一六八 | 六六 |
| 赤迫 | 一八八 | 一〇三 | 五四 |
| 井関 | 一六一 | 七八 | 四八 |
| 野口 | 一七一 | 八五 | 五〇 |
| 杖川 | 一〇六 | 五二 | 四九 |
| 河内 | 一八一 | 一一一 | 六一 |
| 源河 | 一六〇 | 五五 | 三四 |
| 向井関 | 一一四 | 六三 | 五五 |
| 引野 | 二二〇 | 一二九 | 五九 |
| 仙在 | 一〇二 | 四二 | 四一 |
| 青畑 | 三二 | 一七 | 五三 |
| 合計 | 八六六八 | 四二六八 | 四九 |

## 慶弔録

### 出生（おすこやかに）

| 父 | 続柄 | 子の名 | 月日 | 部落 |
|---|---|---|---|---|
| 青木義人 | 長女 | 雅代 | 4・26 | 浜 |
| 久冨明彦 | 長男 | 和孝 | 4・24 | 砂二 |
| 中村信夫 | 長女 | 真美 | 5・3 | 赤迫 |
| 藤本和夫 | 長男 | 隆行 | 5・7 | 南祝 |
| 冨田春雄 | 長男 | 博史 | 5・23 | 引野 |

### 婚姻（おしあわせに）

菊留正夫　鳥取県三朝町
安子（石川）縄田南
福増逸男　井関
聖子（野村）広島県五日市町
江本忠司　東
幸恵（永冨）山口市
北野忠義　旦北
純子（若狭）宇部市
高井則利　熊本県岱明町
美代子（西村）野口
吉村正美　飛石
千鶴子（脇）広島県呉市
上田英治　宇部市
美津枝（縄田）砂三
時乗輝男　吉敷郡秋穂町
美恵子（辻下）岩辻
堅田恒男　向井関
順子（西村）山口市
林　和昭（松尾）山口市
津多江　北祝
原田正男　岩上
みどり（斉藤）防府市
三村友康　岡山市
清美（大田）仙在
中野　朗　岩前
泰子（住友）下関市
岡広三省　吉敷郡小郡町
幸子（古田）岩前
坂野元英　兵庫県姫路市
紀代美（尾上）北祝
原田　匠　山口市
京子（工藤）南祝
永田瑞生　山口市
敬子（伊藤）東
松本義広　兵庫県姫路市
操（石井）縄北
浅川　肇　佐波郡徳地町
美津子（上村）砂三
末次康文　南祝
千歳（岡）阿武郡阿武町
片山辰二　北祝
大洋子（寺戸）縄南
山元　靖　宇部市東岐波
邦子（松本）南祝

### 死亡（ご冥福を祈ります）

| 氏名 | 月日 | 年令 | 部落 |
|---|---|---|---|
| 村田喜代松 | 5・4 | 64 | 飛石 |
| 香田　ヤヲ | 5・12 | 75 | 浜表 |
| 宮重　スミ | 5・14 | 87 | 浜 |
| 布引　好人 | 5・20 | 75 | 砂三 |

## みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

### 短歌

砂三　藤永ミツノ
明方の草原白く光りいて八十八夜のなごりの霜かな

飛石　藤重　幾代
向きを変へなどしつつ榎に止り居し二羽の山鳩は啼かず去りたり

砂一　松代　二郎
日に一つ何かをせむと古トタン使いて今日は塵取り作る

浜　正司　ウメノ
改造をして古巣なき裏納屋を帰り来し燕はめぐりつつ鳴く

砂三　桜井　文子
花びらのちりしく路にさしかかるためらいながらブレーキ踏みて

砂三　渡辺　宮子
地震ゆりておどろき覚むる夜半一人胸高なるに闇また深し

飛石　砂村ヤス子
病棟の朝の廊下の薄灯り我より先に氷取る人

浜　石田サダ子
春の雨に窓閉ざしたる作業場はスチームとソールの匂ひこもりぬ

源河　村井　薫
人を妬む己れかなしも灯の下に刻みしキャベツを水に放てり

小西　平海アサノ
山間の温泉に遊ぶ友と吾椎茸匂ふ春の湯の平

小西　徳本　喜一
目覚むれば陽はおち暗き室内を蚤が右往左往している

小西　藤重アヤ子
夫と来し温泉の里はしづもりて今朝の目覚めに鶯の声

小東　松尾　君代
テレビ見る夫に背をむけ衣縫う止めよと叱る夫にそむきて

北祝　原田　双恵
岡山に集いて歌会はずむ座にときどき孔雀鳴くがきこゆる

岩西　中本　幸枝
耳のいたみのどのいたみに一日耐え勤め帰りを医者に立ち寄る

岩西　中本　満枝
赤鬼や青鬼も出て運動会にたちすくみ泣く児等は抱きあぐ

河内　磯中　忠一
ほのぼのと心ぞなごむ仕事後の汗ふく吾は病に勝てり